

| | | | |
|--|----------------------|-------------|--------------------|
| 授業科目名： 実践英語コミュニケーションⅡ | 教員の免許状取得のための 選択科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 平岡麻里・本純佳 |
| | | | 担当形態： オムニバス |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 英語で考えをまとめ、発表するスキルを磨こう！ ・様々な話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や自らの考えを英語で整理できる。 ・様々な話題の英語を読んで、目的に応じて情報や自らの考えを英語で整理できる。 ・様々な話題について、自らの考えを英語で整理し、発表資料が作成できる。 ・様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて自らの考えを英語で話すこと〔発表・やり取り〕ができる。 ※英語教職課程必須科目のため英語教員を目指す上で十分な英語力 (CEFR A2-B1) があることが望ましい。 | | | |
| 授業の概要 実践英語コミュニケーションⅡでは、実践英語コミュニケーションⅠで培った「聞く、読む、話す〔やり取り・発表〕、書く」能力のレベルアップを図るとともに、アクティブラーニングの手法も用いて、英語で考えをまとめて発表原稿を作成し、それをもとに発表し、他者とやり取りする能力を磨くための演習を行う。また、パワーポイントによるスライド作成、画像/音声データの取り扱い、LMSの使用など、ICTの利用も経験する。 | | | |
| 授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：英語プレゼンテーションの基礎（効果的なプレゼンの準備と実行の方法を学ぶ） 第3回：自己紹介で自分をアピールする（読む・聞く・書くを中心に） 第4回：自己紹介で自分をアピールする（発表・やり取りを中心に） 第5回：ニュースを世界に伝える（読む・聞く・書くを中心に） 第6回：ニュースを世界に伝える（発表・やり取りを中心に） 第7回：長期休暇の過ごし方を企画・提案する（読む・聞く・書くを中心に） 第8回：長期休暇の過ごし方を企画・提案する（発表・やり取りを中心に） 第9回：日本の魅力を世界に紹介する（読む・聞く・書くを中心に） 第10回：日本の魅力を世界に紹介する（発表・やり取りを中心に） 第11回：日本の社会問題を議論する（読む・聞く・書くを中心に） 第12回：日本の社会問題を議論する（発表・やり取りを中心に） 第13回：将来の計画について（読む・聞く・書くを中心に） 第14回：将来の計画について（発表・やり取りを中心に） 第15回：まとめ（学んだことを整理し、今後活かせるよう自己課題を明らかにする） | | | |
| スクーリングでの学修 スクーリングでは授業計画の第4回、第9回、第10回を中心に行い、すべての内容を包括的に取り上げる。 | | | |
| テキスト 松岡昇、立野貴之、三宅ひろ子 (2014) 『Presentations to Go— DVD で学ぶ はじめてのプレゼンテーション』センゲージ ラーニング、978-4863122642 | | | |
| 参考書・参考資料等 岩村圭南 (2019) 『改訂版 英語の正しい発音の仕方（リズム・イントネーション編）』研究社、978-4327764913 高山芳樹 (2019) 『最強の英語発音ジム「通じる発音」と「聞き取れる耳」をモノにする』アルク、978-4757433212 大西泰斗、ポール・マクベイ (2011) 『一億人の英文法』東進ブックス（ナガセ）、978-4890855278 | | | |
| 学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%） | | | |